

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	文化財の保存と活用	コード	作成者	役職	生涯学習課長
		03-03-02	氏名	谷口富祥	
			電話	64-1841	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	地域文化とひとが輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	歴史と文化の輝くまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市内外を問わず、備前の歴史や文化財(特に閑谷学校や備前焼)に興味のある人に対し、公開活用をはかり、もって市民の文化向上に役立つことを目的とする。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市にある数多くの文化財を開発・腐朽・災害などから守り、適切に保護・保存していくことが重要な課題である。また、備前歴史フォーラム等を開催するなど、文化財の公開・活用を通して文化財に親しむ機会を設け、理解を深めてもらう必要がある。旧閑谷学校等の世界遺産登録に向けては、岡山県をはじめ関係市町と協議しながら推進していく必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の保護・保存、公開や活用</li> <li>旧閑谷学校世界遺産登録の推進</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

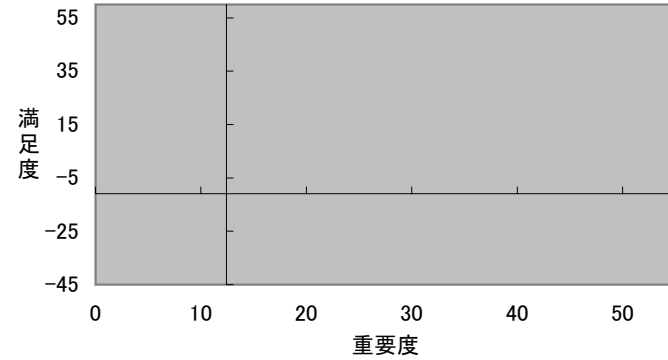
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>  
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>  
現状の方向を継続

<検討領域>  
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>  
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	文化財の保存と活用に関して重要度、満足度の指標はないが、国指定史跡「岡山藩主池田家墓所」について管理が行届いておらず荒廃しているようだと意見もある。(市民アンケート No.303)
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 備前歴史フォーラム延参加者数	目標	人	200	200	100	200	200	200	平成19年度は1日のみの開催。他は2日間の開催。
	実績	人	173	184	84				
	達成率	%	86.5	92.0	84.0				
2 旧閑谷学校世界遺産登録推進委員会総会・記念講演参加者数	目標	人	50	50	50	70	80	100	暫定リスト入りか否かによって今後の展開が大きく異なってくる。
	実績	人	47	51	51				
	達成率	%	94.0	102.0	102.0				
3	目標								
	実績								
	達成率	%							
4	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初(直接事業費)			
				H17			H18			H19						
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数				
1	文化財保護事業	B	文化財保護管理運営事業	施設維持管理	1,976	12,135	1.75	1,426	10,029	1.54	11,071	5,887	0.86	☆☆☆	\$\$\$	1,548
			備前焼総合調査史跡整備事業	国庫補助事業	12,118			13,631						☆☆	\$\$	13,815
2	旧閑谷学校世界遺産登録推進事業	C	閑谷学校世界遺産登録推進委員会事務事業	その他単市	10	1,715	0.20	10	1,705	0.20	10	1,969	0.30	☆	\$\$\$	100
この施策に費やした資源(単位:千円,人)					H17			H18			H19				H20当初(直接事業費)	
					14,104	13,850	1.950	15,067	11,734	1.740	11,081	7,856	1.16			15,463

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
商工観光課	備前焼振興事業など観光関連事業	観光ポイントは文化財関係(備前焼・特別史跡「閑谷学校」など)が多いので、より緊密な連携を図る必要がある

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	3	備前歴史フォーラムを開催し、備前焼を中心とした研究成果を市内外へ情報発信した。併せて文化財の公開活用などに努めた。	3	歴史フォーラム参加者の減は、「生涯学習フェスティバル」の実施に伴い、開催日を2日から1日に短縮したことによるもの。目標は達成可能と判断。
2 事業構成の適当性	3	備前焼総合調査史跡整備事業では、市指定史跡(西大窯跡・北大窯跡)を総合的に調査し、国の追加指定に向け諸準備が整った。	3	文化財を保護・活用していくためには必要な施策で、構成も妥当である。旧閑谷学校世界遺産登録推進事業については、暫定リストへの登録の有無により状況は変わるが、現時点では妥当である。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	4	日常の文化財の保護管理を始め、歴史フォーラムの開催など公開活用に努めた。また、旧閑谷学校等世界遺産登録推進事業では、共同提案書を文化庁へ提出した。(岡山県と3市1町による共同提案書)	3	文化財を保護・活用していくためには有効に必要な施策である。歴史フォーラム参加者数の指標が低下した理由は上記のとおり。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	伊予南大窯跡整備事業など文化財の保護事業では、地元住民の理解と協力が不可欠なので、十分に配慮した取組みを行うよう指導する。また、旧閑谷学校等の世界遺産登録推進事業については、岡山県と関係市町と、より一層の連携を取りながら推進する。			
二次評価者コメント	市内には、備前焼を初め多くの文化遺産が存在する。これら遺産の調査と適切な保存・活用は重要な事業であり、今後とも継続して取組む必要がある。また、当面の課題として、旧閑谷学校等の世界遺産登録推進事業については、岡山県と関係市町と、より一層の連携を取りながら推進していただきたい。			基本施策への貢献度
役職 教育次長 氏名 山本 健次				3中立